

# 大阪市役所医師会報

発行 大阪市役所医師会 〒540-0008 大阪市中央区大手前2丁目1-7 大阪赤十字会館6階 (一財)大阪市環境保健協会内 TEL (06)4792-7070

No. 137 2018(平成30年)5月

## 大阪市役所医師会 会員みなさまへ。

大阪市役所医師会会長 田中正博

### 医師会のこと

この原稿の載る会報は4月の人事異動が確定してから発行予定です。今年から研修医になられた先生は国家試験に合格されて、医師として研修を開始されて約2か月が経ちました。充実した研修をされていますか。研修医以外の先生にとっても、3月と4月は別れと新しい出会いがあり、新たな気持ちで新年度を迎えられたのではないのでしょうか。

さて、毎年新年度号では、大阪市役所医師会について説明申しあげています。



### ●今号の 主な内容

巻頭の辞	1頁
市民公開糖尿病ゼミナール開催報告	5頁
十三市民病院糖尿病フェスタ開催報告	13頁
平成29年度(第63回)市医学会長賞等授与者	19頁
大阪市医学会例会年間予定	22頁
代議員会報告(平成29年10月~30年3月分)	23頁
お知らせ・編集後記	28頁

まず医師会のいいところは、自分の所属する診療科や医局・病院の枠を超えたつながりが広がります。女性医師の会の活動を見ていると、特にそう感じます。次に医師といえども、勤務医は組織に属しているので、勤務条件を無視することはできません。一人で改善要求することは大変ですが、みんなの共通の困ったことを医師会に相談していただくことで、解決できる可能性があります。

大阪市役所医師会の自己紹介を少しばかりさせていただきます。大阪市役所医師会は大阪市立大学に勤務する医師を除いた大阪市や大阪市に関係した独立行政法人などに勤務する医師やOBのための医師会です。日本医師会、大阪府医師会の下部組織の郡市区等医師会の一つとなります。500名以上の会員数がある郡市区等医師会の中では大きな医師会です。

## 活動内容

大阪市役所医師会主催の学術集会と特別講演

今年は9月1日土曜の午後に開催します。特別講演の講師はアドラー心理学研究の泰斗である岸見一郎先生を招聘しています。著書の『嫌われる勇気』が2016年Amazonの和書総合ランキングで第1位に選ばれました。と書けば、わかりやすいでしょうか。 <http://kishimi.com>

女性医師の会とともに男女共同参画活動をしています。昨年度は要望の多かった病児保育を市民病院機構にお願いし、今年度からはじめることができました。事前登録が必要なので、利用する可能性のある人はあらかじめ登録を済ませておいてください。認定NPO法人ノーベル <https://byojihoiku.nponobel.jp/> 法人パックと大阪市民病院機構にを入れてください。

そのほか、多くの講演会や市民公開講座、ウエルカムパーティーなどを後援しています。

大阪市役所医師会や女性医師の会の会報やホームページを作成しています。研修医・レジデント委員会を組織し、次世代をになう若手医師の英語論文作成、研究、学会出張などを支援しています。支援を始めたところで、試行錯誤中です。医師会事務局までお問い合わせください。

大阪市と市民病院機構に勤務している医師は大阪市医学会の会員でもあります。大阪市医学会雑誌（欧文・和文）の出版や大阪市医学会会長賞などを支援しています。投稿には大阪市医学会会員資格が必要ですが、会費を大阪市役所医師会が負担しています。

厚生労働省や大阪府などから出される通達などの周知をしています。

大阪府医師会、大阪府下5大学医学部医師会、府庁医師会との定期交流会をしています。  
 大阪市役所医師会では日本医師会医師賠償責任保険の加入手続きをしています。  
 研修医には日本医師会・大阪府医師会とも会費の研修医割引があり、優遇されています。  
 上記活動のため、毎月代議員会を開催しています。



第63回大阪市医学会会長賞授与式

### 「考える」と「深く考える」

例えば、朝乗った通勤電車が「いつもよりも混んでいる。事故があったのかな。」  
 「混んでいるから遅れそう。駅に着いたら走ろう。」と「考える」。このような「考える」という行為は「recognition=認識」と考えられます。つまり「目の前のものは、既に自分の中にある概念と同じである」と確認する作業が一般に「考える」という行為です。自分の中には「電車の混雑=事故」「電車の混雑=遅延」という概念がすでにあります。目の前の「電車の混雑」という状況を見て、すでにある概念に当てはめているだけです。「再び (re) + 認知 (cognition)」

これでは「考える」ことに時間はかかりませんが、新しい着想は生まれにくいといえます。言葉を頭に浮かべるだけでは、「深く考える」ことになりません。

「深く考える」とは、考えて、考えて、考え抜いたすえに、まったく新しい概念が自分の中に形成されることです。新しい発見は簡単ではありません。回り道をする。勘違いをする。後戻りするかもしれない。時間もかかる。「試行」錯誤とは、思考を深める「思考」錯誤です。つまり「深く考える」とは、プロセスを省略せずに存分にたどり、様々な発見をし、自分なりの答えを導き出すという営みです。そうして「発見」の回路が脳に一度形成されれば、「深く考える」ことが自然と増え、思考力強化につながっていきます。

深く考えて、考えて、思考の深みの奥底に潜り、時には息を止めて、夢中で深く考える。深く考えた末に得た答えや着想は、割合高い確率で「珍しい、変わっている、ユニーク」であるといえます。これらの要素があるからといって思考の結晶が「正解」であるとは限りませんが、ユニークという要素は「価値がある考え」に不可欠です。

便利さに浸って暮らしている私たちは、深く考えずにひたすらスピードを上げて、ポロリと成果物ができると単純に喜んでしまいます。今の世の中は「もっと早く、もっと便利に」という思いによって発展し、豊かさを獲得してきました。が、同時に抜けていることもあります。その一つが「深く考えること」です。

深く考えるプロセスにこそ真の問題や新たな解決法が隠れていて、価値があります。時として、ダイヤモンド以上の価値を秘めた砂利や石ころに気づく営みであり、ダイヤモンド以外の新たな「正解」も導き出せうる手法です。

短時間に答えを出すことも必要ですが、時には「深く考えて」みてください。この「深く考える」に興味を持たれた方は、ぜひ京大式 DEEP THINKING (川上浩司著) を読んでください。



# 市民公開糖尿病ゼミナール 「ためしたカッテン2017」

平成29年11月1日（水）

大阪市立総合医療センター糖尿病内分泌センター糖尿病内科 細井 雅之

11月14日は国際連合総会2006年12月に定められた世界糖尿病デー「World Diabetes Day」であり、全世界で、糖尿病撲滅のための啓蒙活動が行われます。日本糖尿病協会もこの日を中心として、「糖尿病週間」として、全国で、街頭キャンペーン、血糖測定活動、患者会活動などを毎年、繰り返し行っています。

当院でも、2011年から、市民公開糖尿病教室として、NHK「ためしてガッテン」を見習い「ためしたカッテン」を11月14日前後に行ってきました。当初は、体験型糖尿病教室として実践を中心に行ってきましたが、昨年より、より多くの市民にも参加いただけるように、講演形式を中心に行いました。メインテーマをトランプ大統領に負けないように「糖尿病患者さんファースト」として、安倍首相にちなんで、「患者さんのご意向にそった糖尿病治療」をサブタイトルとした話題を、①医師、②薬剤師、③管理栄養士、④看護師、⑤理学療法士から講演をさせていただきました。その他に、体験コーナーとして、①血管年齢測定、臨床検査技師、②SATシステムによるバーチャルバイキング、管理栄養士、③セラバンド、ボールをつかった糖尿病レジスタンス運動、理学療法士 を実践していただきました。

当日は、スタッフとして糖尿病内科医師、糖尿病看護認定看護師、日本糖尿病療養指導士（看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士）大阪糖尿病療養指導士（看護師、管理栄養士）、そして地域連携室スタッフに、協力していただいています。248名の市民の参加がありました。

大阪市役所医師会からは助成金をいただき、①血管指先脈波機器レンタル料 ②「セラミックチューブ」を購入し、当日、配布して、③ロコモ運動DVD、④ボールを購入、運動療法実践指導に利用させていただきました。

ご助成いただきました大阪市役所医師会に対して、改めて厚く御礼申し上げます。



## アンケート結果

来場者：248名（資料配布枚数より）

アンケート回収枚数：121枚

アンケート回収率：121/248 = 48.8%

		人数(人)	割合(%)
1. 性別	男	41	33.9
	女	78	64.5
	無回答	2	1.7
	合 計	121	100.0

		人数(人)	割合(%)
2. 年齢	20歳代	4	3.3
	30歳代	4	3.3
	40歳代	11	9.1
	50歳代	21	17.4
	60歳代	30	24.8
	70歳代	34	28.1
	80歳代	16	13.2
	無回答	1	0.8
合 計		121	100.0

		人数(人)
3. 住所	都島区	44
	旭区	18
	城東区	13
	東淀川区	4
	鶴見区・平野区・北区・大東市	各3
	堺市・東大阪市・松原市・寝屋川市	各2
	東住吉区・福島区・浪速区・中央区・東成区 豊中市・交野市・泉大津市・門真市・吹田市 枚方市・藤井寺市	各1
	奈良市・尼崎市・兵庫県・神戸市・東京都	
	無回答	2

		人数(人)
4. 知った理由 (複数回答)	総合医療センター内のポスター、ビラなど	39
	大阪市関連のポスター・ビラ	22
	総合医療センターのHP	6
	区民だより	24
	他の病院・診療所など	15
	薬局	10
	駅での情報	1
	医療者からの情報	14
	家族・知人からの情報	8
	スポーツ施設	2
	北部包括より	3
	その他 ・町内会回覧 ・社会福祉協議会より ・老人会 など	各1
	無回答	3

		人数(人)
5. 参加理由 (複数回答)	家族・知人のすすめ	6
	医療従事者のすすめ	18
	タイトルに興味があった	26
	新しい情報が得られると思った	56
	楽しそうだった	6
	糖尿病の勉強ができると思った	75
	血管年齢が知りたかった	3
	夫が糖尿病なので 毎年参加しているので	各2
	糖尿病患者なので	
	親が糖尿病なので 父が糖尿病で膵臓癌で亡くなったから 予備軍なので など	各1
	無回答	5

		人数(人)	割合(%)
6. これまでの参加 回数	1回	17	14.0
	2回	19	15.7
	3回	6	5.0
	4回	2	1.7
	5回	4	3.3
	6回	1	0.8
	回数は忘れた(わからない)	5	4.1
	ない	65	53.7
	無回答	2	1.7
	合 計		121

		人数(人)	割合(%)
7. 治療を受けて いるところ	当院	27	22.3
	当院以外：病院	7	5.8
	当院以外：診療所	15	12.4
	当院以外：無回答	8	6.6
	治療は受けたことが無い	43	35.5
	以前うけていたが今は受けていない	3	2.5
	無回答	18	14.9
	合 計		121

		人数(人)
8. 糖尿病内科 への要望	待ち時間が長い(予約時間より約1時間遅い)	2
	待ち時間が長いので時間をずらして来てもいいですか	1
	糖尿病の人が楽しみを持って食事療法ができる方法 のアドバイス	1
	合 計	4



		人数(人)	割合(%)
9. 糖尿病と診断 されてどれぐ らいか	1年未満	3	2.5
	1年～4年	10	8.3
	5年～9年	9	7.4
	10年～14年	13	10.7
	15年～19年	6	5.0
	20年～29年	7	5.8
	30年以上	8	6.6
	わからない	4	3.3
	糖尿病ではない	42	34.7
	無回答	19	15.7
	合 計	121	100.0

		人数(人)	割合(%)
10. HbA1cを 知っているか	知っている ・過去1～2カ月の血糖値の平均値：15人 ・血糖値の検査：5人 ・糖尿病の指標・ヘモグロビン ・平均値など 各2人 ・3カ月前までの血糖値・糖尿病を判断する数値 ・ヘモグロビンについている等糖の大小 ・値が高いと良くない 等 各1人	85	70.2
	知らない	29	24.0
	無回答	7	5.8
	合 計	121	100.0

		人数(人)	割合(%)
11. HbA1cの値を 知っているか	4%台	1	0.8
	5%台	7	5.8
	6%台	22	18.2
	7%台	13	10.7
	8%台	3	2.5
	9%台以上(11%)	1	0.8
	知っているが値は無回答	24	19.8
	知らない	40	33.1
	無回答	10	8.3
	合 計	121	100.0

		人数(人)	割合(%)
12. 世界糖尿病デー	知っている	52	43.0
	知らない	63	52.1
	無回答	6	5.0
	合 計	121	100.0

		人数(人)
13. 良かったもの (複数回答)	[講演]	
	患者さんの知恵と医療の知恵	58
	超絶怒涛のー！薬を続けられるコツ	53
	いつでもどこでも鼻歌体操	65
	得する食事？損する食事？	66
	ほんまでっか？糖尿病診療にまつわる	54
	無回答	34
	[体験・展示]	
	楽しく得するレジスタンス	23
	あなたの血管年齢は？	52
	体験、バーチャルバイキング	19
	認知症について	21
	患者会活動	10
	無回答	51

		人数(人)	割合(%)
14. 今後も参加 したいか	はい	113	93.4
	いいえ	1	0.8
	無回答	7	5.8
	合 計	121	100.0

大阪市立総合医療センター ためしたカッテン2017

# 市民公開糖尿病ゼミナール

糖尿病患者ファースト

## 患者さんのご意向にそった最新治療

日時 2017.11.1 (水)  
13:00~16:00 (開場12:30~)

会場 大阪市立総合医療センター  
さくらホール (定員250名)

みやこりん  
もくるよ!



【写真提供】スタッフ集合写真 杏林会



理学療法士による「チューブ体操実践」



臨床検査技師による「血管年齢測定」

## 一般住民向け糖尿病予防啓発イベント

# 「第9回糖尿病フェスタ」報告

大阪市立十三市民病院 糖尿病内科 日浦 義和

11月14日は、世界的に広がる糖尿病の脅威に対して、1991年にIDF(国際糖尿病連合)とWHO(世界保健機関)が制定、2006年12月に国際連合に認定された「世界糖尿病デー」です。当日は世界中で糖尿病抑制に向けたキャンペーンが行われています。当院でも、一般住民向けの予防啓発イベント「糖尿病フェスタ」を2009年より開催し、今回で9回目を迎えました。①地域住民に対し糖尿病の予防啓発を行い糖尿病に対する知識・理解を深め個々の健康増進に役立てる。②病院広報活動の一環として、実際に足を運んでもらうことで、当院に関心をもち受診しやすい環境を作り病院の知名度の向上を図る。③本イベントを企画運営することにより、スタッフの疾患に対する知識の向上、チーム医療への意識を高めるとともに、各職種間の団結を強固にする。これらを目的に「糖尿病フェスタ」を開催してきました。日頃から医師、看護師、栄養士、理学療法士、臨床検査技師等の各職種で構成されたDCT(Diabetes Care team)で糖尿病チーム医療を実践し、「糖尿病フェスタ」もDCTが中心となり企画、運営を行っています。

今回は2017年11月10日午後2時から4時の2時間で開催しました。今回のテーマを「口は災いの元」に決定し、歯科医師に講演を依頼しました。理学療法士による自宅でできるトレーニングの講演お

よび実践、薬剤師による薬相談や、血糖測定や体組成測定、知覚・痛覚定量分析装置での神経検査、体力測定、ロコモ診断や食育SATシステム®を利用したバーチャルバイキングなどの参加型イベントを実施しました。

参加者は79名で、年齢分布は、60歳代が31.3%、70歳代が41.7%と例年通り60～70歳代が多く占めていました。男女比は、男性43.7%女性56.2%と女性の参加が多かった。今回初めて参加した方は60%と半数以上を占めていました。参加者のうち、糖尿病の既往がある、もしくは予備軍と言われた方は47.1%であり半数以上は糖尿病の既往がない方でありました。糖尿病フェスタが役に立ったと答えた参加者は90.2%と好評で、参加することにより、自分の生活の見直しが必要という意識改革のきっかけに有用であったという意見もありました。

今回、口腔内の健康という身近なテーマにして糖尿病フェスタを実施することで、糖尿病の既往がない方も含めて、様々な方に対して個々の健康増進へつなげることができ、参加者の知識の向上とともに、自分の生活を見直す契機となり、啓発運動としても有効であったと考えています。

糖尿病フェスタを運営するにあたって、大阪市役所医師会にご後援をいただき、成功裏に終わることができました。この場をお借りいたしまして御礼申し上げます。

# 「お口の中の病気と体の病気」

小池歯科医院 歯科医師 佐原 翔太先生

- 1) 糖尿病の歯周病
- 2) 歯周病と体の病気
- 3) 噛み合わせの全身への影響

プラーク（歯垢）は食べかすではなく細菌の塊である。（我々の概念では頸動脈等のプラークを考えますが、ここでは歯垢を意味します。）

## 1) 糖尿病と歯周病

糖尿病と歯周病は、相互に密接な関係がある。血糖コントロールが悪いと歯周病を悪化させ、逆に歯周病が、血糖コントロールを悪化させることが指摘されている。歯周病を治療することで血糖コントロールは改善し、血糖コントロールを改善することで、歯周病の成功率が高まる。

## 2) 歯周病と体の病気

歯周病と呼吸器疾患との関係では誤嚥性肺炎が有名であるが、それ以外にも歯周プラーク細菌が、心内膜のみでなく血管壁に反応して血栓を形成する可能性、また妊婦においては早期低体重出産の危険性につながる可能性がある。

## 3) 噛み合わせの全身への影響

歯周病等により歯を失い、義歯を入れない場合には、認知症や転倒の危険性が高い。

最後に

歯周病を含めた口腔内ケアが必要である。

以上佐原先生のスライドより、先生の許可を得てまとめています。

第9回

# 糖尿病フェスタ

11月14日世界糖尿病デーにちなみ、糖尿病フェスタを開催します。皆様に楽しんでいただける催しを企画し、下記の内容を予定しております。ぜひ、お越し下さい！

くち わざわ もと  
テーマ **口は災いの元**  
～口の健康考えましょう～

日時：平成29年11月10日(金) 午後2時～4時

場所：十三市民病院 1階ホール・9階スカイルーム

\* 公演・体験コーナー・展示物など \*

## 1階ホール

- ・ しっかり食べてしっかり話そう : 医師
- ・ 口腔内ケア : 歯科衛生士
- ・ 実践運動療法 : 理学療法士

## 9階スカイルーム

- ・ 「体組成」何それ～? : 臨床検査技師
- ・ 調べてみよう! 神経障害 : 看護師
- ・ 今すぐわかる血糖値! : 看護師
- ・ あなたの疑問に答えます! お薬・健康食品相談コーナー : 薬剤師
- ・ あなたの食事は何キロカロリー? : 栄養士
- ・ 淀川桃友会のご紹介 : 患者会

費用：無料 申込み：不要

十三市民病院巡回バスもご利用下さい(裏面をご参照下さい)



糖尿病ケアチーム  
Diabetes Care Team

主催：大阪府立十三市民病院糖尿病ケアチーム・淀川桃友会

後援：大阪府市役所医師会



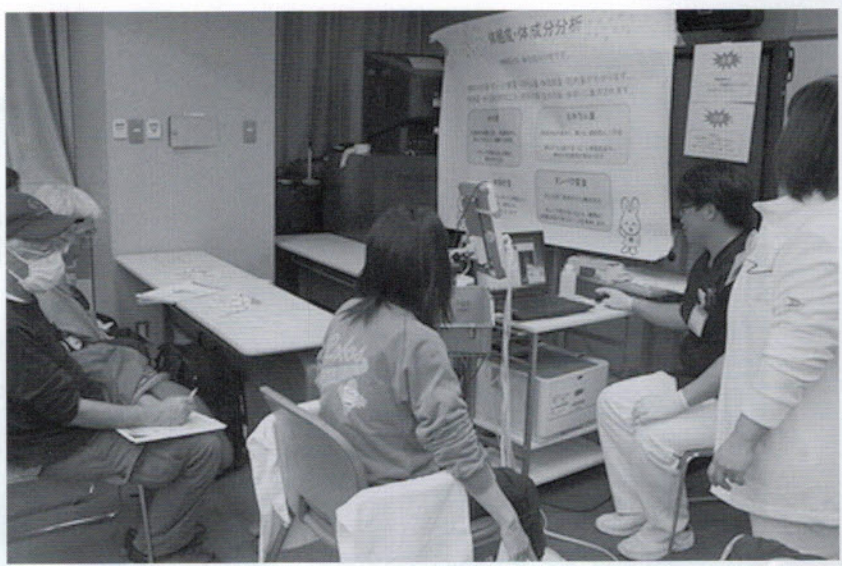
SAT食育システムを用いたバーチャルバイキング



ロコモ測定



体組成測定

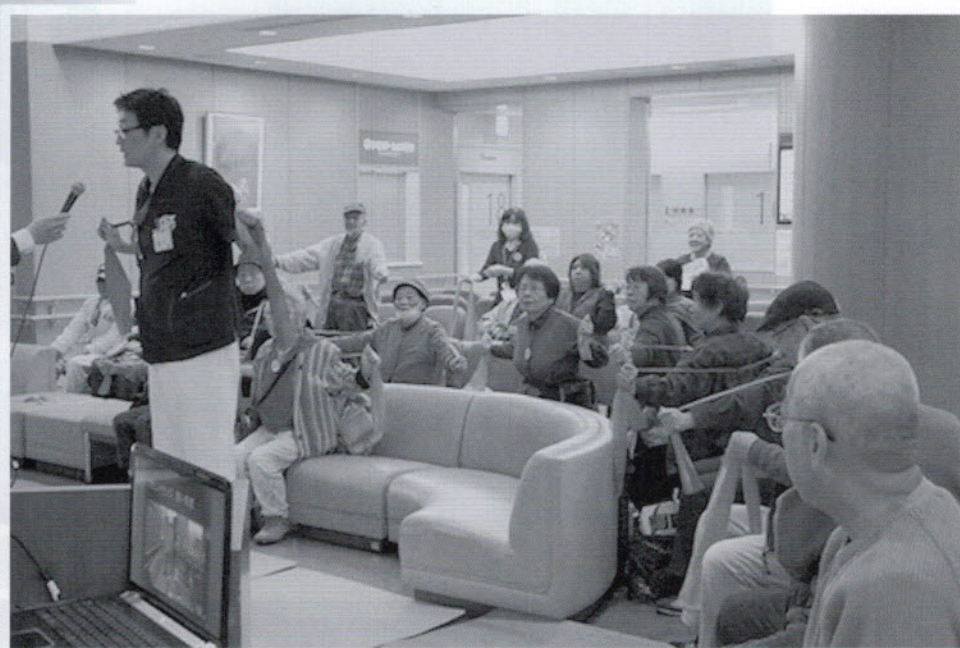


神経障害の測定



血糖測定





チューブを用いた運動体験



歯科医師による講演

平成 29 年度 (第 63 回)

## 大阪市医学会 会長賞、大阪市医学会 学会賞 受 賞 者

平成 28 年度の大阪市医学会会長賞論文が 2 編、医学会賞が 7 編選考されました。

### 【大阪市医学会 会長賞】

#### 氏名・所属

福永周生・永見康明・斯波将次・大南雅揮・谷川徹也・山上博一  
(大阪市立大学 大学院医学研究科 消化器内科学)  
田中浩明・六車一哉  
(大阪市立大学 大学院医学研究科 腫瘍外科学)  
渡辺俊雄・富永和作・藤原靖弘  
(大阪市立大学 大学院医学研究科 消化器内科学)  
大平雅一・平川弘聖  
(大阪市立大学 大学院医学研究科 腫瘍外科学)  
荒川哲男  
(大阪市立大学 大学院医学研究科 消化器内科学)

#### 論文題目

Long-term Prognosis of Expanded-indication Differentiated-type Early Gastric Cancer Treated with Endoscopic Submucosal Dissection or Surgery Using Propensity Score Analysis  
(分化型早期胃癌の適応拡大病変に対する内視鏡的粘膜下層剥離術と外科手術の長期予後一傾向スコア分析を用いて)

#### 掲載誌および発刊年

Gastrointestinal Endoscopy 2017;85:143-152

#### 氏名・所属

木下春人・八代正和・福岡達成・長谷川毅・森崎珠実・笠島裕明・増田 剛・野田 愉・平川弘聖  
(大阪市立大学 大学院医学研究科 腫瘍外科学)

#### 論文題目

Diffuse-type Gastric Cancer Cells Switch Their Driver Pathways from FGFR2 Signaling to SDF1/CXCR4 Axis in Hypoxic Tumor Microenvironments  
(低酸素癌周囲微小環境においてびまん浸潤型胃癌細胞の増殖経路は FGFR2 から SDF1/CXCR4 経路に変化する)

#### 掲載誌および発刊年

Carcinogenesis 2015;36:1511-1520

### 【大阪市医学会 学会賞】

#### 氏名・所属

梯アンナ・石井真美・奥野高裕・藤岡正喜・魏 民・福島昭治・鰐淵英機  
(大阪市立大学 大学院医学研究科 分子病理学)

#### 論文題目

Progression of Hepatic Adenoma to Carcinoma in Ogg1 Mutant Mice Induced by Phenobarbital  
(Ogg1 ミュータントマウスにおけるフェノバルビタール投与による肝細胞腺腫から癌への進行)

#### 掲載誌および発刊年

Oxidative Medicine and Cellular Longevity 2017;2017:8541064

【大阪市医学会 学会賞】

氏名・所属

西岡孝芳 (大阪市立大学 大学院医学研究科 心臓血管外科学)  
 久保正二・田中肖吾 (大阪市立大学 大学院医学研究科 肝胆膵外科学)  
 若狭研一 (大阪市立大学 大学院医学研究科 診断病理学)  
 竹村茂一・木下正彦・濱野玄弥 (大阪市立大学 大学院医学研究科 肝胆膵外科学)  
 桑江優子 (大阪市立大学 大学院医学研究科 診断病理学)  
 柴田利彦・末廣茂文 (大阪市立大学 大学院医学研究科 心臓血管外科学)

論文題目

Outcomes of Hepatic Resection in Intrahepatic Cholangiocarcinoma Patients with Diabetes, Hypertension, and Dyslipidemia: Significance of Routine Follow-up  
 (糖尿病、高血圧、脂質異常症患者における肝内胆管癌の切除成績 一定期受診の重要性)

掲載誌および発刊年

Liver Cancer 2016;5:107-120

氏名・所属

立花大和 (大阪市立大学 大学院医学研究科 泌尿器病態学)  
 魏 民 (大阪市立大学 大学院医学研究科 分子病理学)  
 加藤 実 (大阪市立大学 大学院医学研究科 泌尿器病態学)  
 山野荘太郎・藤岡正喜・梯アンナ (大阪市立大学 大学院医学研究科 分子病理学)  
 平山幸良・香山侑弘・玉田 聡・  
 仲谷達也 (大阪市立大学 大学院医学研究科 泌尿器病態学)  
 鰐淵英機 (大阪市立大学 大学院医学研究科 分子病理学)

論文題目

Carbonic Anhydrase 2 is a Novel Invasion-associated Factor in Urinary Bladder Cancers  
 (炭酸脱水酵素2は膀胱癌における新しい浸潤関連因子である)

掲載誌および発刊年

Cancer Science 2017;108:331-337

氏名・所属

岡崎栄一郎・山本 晃 (大阪市立大学 大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学 / 放射線腫瘍学)  
 西田典史 (済生会中津病院 放射線科)  
 羽室雅夫 (大阪市立大学 大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学 / 放射線腫瘍学)  
 荻野 亮 (多根総合病院 放射線治療科)  
 細野雅子・島谷康彦・堤 真一・濱本晋一・寒川悦次・城後篤志・三木幸雄  
 (大阪市立大学 大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学 / 放射線腫瘍学)

論文題目

Three-dimensional Conformal Radiotherapy for Locally Advanced Hepatocellular Carcinoma with Portal Vein Tumor Thrombosis: Evaluating Effectiveness of the Model for End-stage Liver Disease (MELD) Score Compared with the Child-Pugh Classification  
 (門脈腫瘍栓を伴う局所進行肝細胞癌に対する三次元放射線治療の成績: Child-Pugh 分類と比較した MELD スコアの有効性の検討)

掲載誌および発刊年

British Journal of Radiology 2016;89:20150945

【大阪市医学会 学会賞】

氏名・所属

吉田香奈子・Hoang Hai・田守昭博・寺西優雅・小塚立蔵・元山宏行・川村悦史・萩原淳司・打田(小林)佐和子・森川浩安・榎本 大・村上善基・河田則文  
(大阪市立大学 大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学)

論文題目

Long-term Follow-up of Resistance-associated Substitutions in Hepatitis C Virus in Patients in which Direct Acting Antiviral-based Therapy Failed

(C型肝炎患者における直接作用型抗ウイルス薬非著功例の薬剤耐性変異の長期経過観察について)

掲載誌および発刊年

International Journal of Molecular Sciences 2017;18:E962

氏名・所属

山田章子・佐藤恭子・衣畑成紀・上原新一郎・圓藤吟史  
(大阪市立大学 大学院医学研究科 産業医学)

正田米造  
(鳳総合健診センター)

Fujimoto WY  
(ワシントン州立大学 医学部 代謝・内分泌・栄養学)

Boyko EJ  
(退役軍人病院 ピュージェットサウンドヘルスケアシステム  
疫学研究情報センター)

林 朝茂  
(大阪市立大学 大学院医学研究科 産業医学)

論文題目

Association of Visceral Fat and Liver Fat with Hyperuricemia

(腹部内臓脂肪および肝臓の脂肪蓄積と高尿酸血症の関係)

掲載誌および発刊年

Arthritis Care & Research 2016;68:553-561

氏名・所属

近藤亨子  
(大阪市立大学 大学院医学研究科 公衆衛生学)

鈴木幹三  
(名古屋市立大学 看護学部)

鷲尾昌一  
(聖マリア学院大学 大学院看護学研究科 内科学  
・公衆衛生学)

大藤さところ・福島若葉・前田章子  
(大阪市立大学 大学院医学研究科 公衆衛生学)

廣田良夫  
(保健医療経営大学)

論文題目

Effectiveness of 23-valent Pneumococcal Polysaccharide Vaccine and Seasonal Influenza Vaccine for Pneumonia among the Elderly-Selection of Controls in a Case-control Study

(高齢者肺炎に対する23価肺炎球菌ワクチンと季節性インフルエンザワクチンの予防効果-症例対照研究における対照選択の重要性)

掲載誌および発刊年

Vaccine 2017;35:4806-4810

# 大阪市医学会例会年間予定（普通演題のみ）

平成30年度

（平成30年3月5日配布済み）

月	例会予定 年6回 第3木曜				編集委員会
	開催日	場 所	普通演題 申込み締切日	当番教室 (変更あり)	(年4回) 4・6・1/第2火曜 11/第4火曜
4月	*	*	*	*	4月17日(火) 16:30~
5月	第506回 5月17日	4F大講義室	4月6日(金)	泌尿器病態学	*
6月	*	*	*	*	6月12日(火) 16:30~
7月	第507回 7月19日	4F大講義室	6月7日(木)	女性生涯医学 女性病態医学	*
8月	*	*	*	*	*
9月	*	*	*	*	*
10月	第508回 10月18日	4F大講義室	9月7日(金)	視覚病態学	*
11月	第509回 11月15日	4F大講義室	10月5日(金)	耳鼻咽喉病態学	11月27日(火) 16:30~
<p>市医学会の受付は「普通演題のみ」となりますのでご注意ください。                      （平成22年度より、例会において学位論文の発表をする方は、学位審査を同時にすることになりました）</p>					
12月	第510回 12月20日	4F大講義室	11月7日(水)	麻酔科学	*
1月	第511回 1月17日	4F大講義室	12月7日(金)	核医学 診断病理学・病理病態学 救急医学	1月15日(火) 16:30~
2月	第512回 2月7日	4F大講義室	1月10日(木)	血液腫瘍制御学	*
3月	第64回会長賞 3月14日(未定)	(会長賞) 4F大講義室	*	*	3月20日頃 メール審議予定

○上記日程は開催予定ですので、当番教室等変更される場合があります。

なお、内容の要旨・抄録の提出日については市医学会までお問い合わせ下さい。

○大阪市医学会事務局（月曜～金曜）の受付時間はAM. 9:30～PM. 5:00です。

問い合わせ先 医学部学舎12F 担当：百々（ドド）

FAX & TEL: 06-6645-3782

Email: shiigakukai@med.osaka-cu.ac.jp

# 大阪市役所医師会 平成29年10月代議員会議事録

と き：平成29年10月24日（木） 午後6時40分～7時

と ころ：総合医療センター3階 さくらルーム

出席者：田中正博 澤田好伴 根引浩子 西口幸雄 志村雅彦  
出雲谷恭子 村田佳津子 細井雅之 田中政宏 吉野祥一  
神吉理枝 山口利昌 金本元勝 栗原敏修 依藤 亨  
撫井賀代 鈴木真司 日浦義和 國吉裕子 金本巨哲（20名）  
木幡利至朗 山下直子（事務局）

委任状提出：稲田 浩 愛場庸雅 古塚大介 有元秀樹 舟本仁一  
中田真一 平林 円 森 秀夫 山田明子 清水貞利  
河田 弘（11名）

## 1. 委員会報告

- ・ 会長報告
- ・ 各委員会報告
  - 総務委員会
  - 広報委員会 会報の発行について
  - 男女共同参画委員会
  - 学術委員会 研究補助の申請について

## 2. 議題

- (1) 5大学2行政 府医勤務医会について
  - テーマ「医師の働き方改革について」
  - 勤務条件等検討委員会で対応
  - 医師の残業問題（特に80時間超過）について
- (2) 人事案件について（代議員の異動）
- (3) 病児保育について
  - 機構理事長に必要性を提案
- (4) その他
  - 研修の後援について

次回開催予定 平成29年11月21日（火）午後6時30分より さくらルーム

# 大阪市役所医師会 平成29年11月代議員会議事録

と き：平成28年11月21日（火）午後6時35分～7時10分

ところ：総合医療センター3階 さくらルーム

出席者：田中 正博 澤田好伴 根引浩子 志村雅彦 出雲谷恭子  
村田佳津子 細井雅之 田中政宏 稲田 浩 山口利昌  
金本元勝 栗原敏修 撫井賀代 金本巨哲（14名）  
木幡利至朗 山下直子（事務局）

委任状提出：愛場庸雅 川崎靖子 古塚大介 舟本仁一 中田真一  
平林 円 森 秀夫 日浦義和 山田明子 鈴木真司  
吉野祥一 國吉裕子 中西亜紀（13名）

## 1. 委員会報告

- ・会長報告
- ・各委員会報告
  - 総務委員会
  - 広報委員会 会報136号の発行について
  - 男女共同参画委員会 女性医師の会総会及び特別講演について
  - 学術委員会

## 2. 議題

- (1) 5大学2行政 府医勤務医会について（報告）
- 総合医療センターにおける勤務実態を報告
  - 超過勤務の対象及び手当について
  - 女性医師の割合（シニアレジデント36%、レジデント47% 研修医70%）
  - 病児保育を含め、職場環境の改善が必要
  - 産休・育休等、本務医とレジデント等の非常勤職員では条件に差がある

## 3. その他

- 弘済院附属病院について

○12月代議員会は、議題がない場合は開催しない。



# 大阪市役所医師会 平成30年1月代議員会議事録

と き：平成30年1月23日（火） 午後6時35分～7時10分

ところ：総合医療センター3階 さくらルーム

出席者：田中正博 澤田好伴 中西亜紀 根引浩子 西口幸雄  
山口利昌 細井雅之 原 純一 出雲谷恭子 志村雅彦  
神吉理枝 栗原敏修 依藤 亨 撫井賀代 清水貞利  
田中政宏 鈴木真司 金本巨哲 金本元勝 村田佳津子  
日浦義和（21名）

木幡利至朗 山下直子（事務局）

委任状提出：愛場庸雅 英久仁子 吉野祥一 舟本仁一 中田真一  
平林 円 森 秀夫 山田明子 國吉裕子 河田 弘（10名）

## 1. 委員会報告

### ・会長報告

- > 11月郡市区等医師会長協議会 専門医研修の一時登録について
- > 12月郡市区等医師会長協議会 万博、IRの誘致について
- > 大阪市医学会の委員について

### ・各委員会報告

○総務委員会

○広報委員会 会報137号の原稿依頼について

○男女共同参画委員会

1月26日女性医師の会総会を予定

特別講演 杉本真樹先生「インセンティブ・プレゼンテーション」

○学術委員会 9月1日学術集会の特別講演講師推薦について

## 2. 議題

(1) 府医代議員、予備代議員の選出

(2) 代議員会の開催時間について

(3) その他

- > レジデントの給与水準、アルバイトについて

次回開催予定 2月27日（火）午後7時より

# 大阪市役所医師会 平成30年2月代議員会議事録

と き：平成30年2月27日（火） 午後7時～7時40分

ところ：総合医療センター3階 さくらルーム

出席者：田中正博 志村雅彦 根引浩子 中西亜紀 西口幸雄  
山口利昌 細井雅之 原 純一 神吉理枝 依藤 亨  
田中政宏 鈴木真司 金本巨哲 吉野祥一 村田佳津子  
日浦義和 有元秀樹（17名）  
木幡利至朗 山下直子（事務局）

委任状提出：愛場庸雅 出雲谷恭子 澤田好伴 古塚大介 中田真一  
栗原敏修 撫井賀代 山田明子 河田 弘（9名）

## 1. 委員会報告

・会長報告

・各委員会報告

○総務委員会

○広報委員会 会報原稿の締め切りについて

○男女共同参画委員会

1月26日女性医師の会総会、講演会118名参加 盛会で終了

○学術委員会 9月1日学術集会 特別講演の演題募集状況について

## 2. 議題

(1) 平成30年度予算編成について

> 収入・支出について

> レジデント・研修医研究支援規定の周知不足について

(2) その他

・「医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組」（骨子案）について

> 4月から病院機構管理職以下の超過勤務手当の変更について

次回開催予定 3月28日（水）午後7時より

# 大阪市役所医師会 平成30年3月代議員会議事録

と き：平成30年3月28日（火） 午後7時～午後7時45分

ところ：総合医療センター3階 さくらルーム

出席者：田中正博 根引浩子 志村雅彦 出雲谷恭子 西口幸雄  
依藤 亨 原 純一 撫井賀代 村田佳津子 金本元勝  
山田明子 日浦義和 國吉裕子 神吉理枝 清水貞利  
山口利昌 田中政宏 金本巨哲（18名）  
木幡利至朗（事務局）

委任状提出：澤田好伴 中西亜紀 河田 弘 愛場庸雅 中田真一  
鈴木真司 森 秀夫 平林 円（8名）

## 1. 委員会報告

- ・会長報告 3月16日府医会長協議会
- ・各委員会報告

○総務委員会

○広報委員会 次号会報原稿の締め切りについて

医師会ホームページのSSL対応について

○男女共同参画委員会 4月5日ウェルカムパーティー開催について

○学術委員会 9月1日学術集会 特別講演

岸見一郎氏 「アドラー心理学について」

## 2. 議題

(1) 平成30年度予算について

- レジデント・研修医研究支援規定についてウェルカムパーティー開催時に周知

(2) 病児保育について

- 4月から派遣型病児保育制度が始まる。機構の職員は利用が可能
- 福田クリニック（元総合医療センター小児科勤務・福田優子先生）の病児保育について

(3) その他

- 勉強会等の支援について

次回開催予定 4月24日（火）午後7時より

# 平成30年度 大阪市役所医師会学術集会の 特別講演 が決定!!

日時： 平成30年 9月1日(土) 午後2時～6時

場所： 大阪市立総合医療センター さくらホール

特別講演講師：

2016年Amazonの総合和書ランキング1位「嫌われる勇気」の著者

岸見一郎先生

「アドラー心理学について」

<一般演題>

改めて演題募集がありますが、今年度も発表者には参加賞、優秀な発表には優秀賞が授与される予定ですので、ふるってご応募ください!!

## 会員名簿について

会員名簿については、大阪市役所医師会ホームページ <http://www.ocma.jp/> の会員専用ページに掲載しております。会員専用ページ閲覧に必要なIDとパスワードは平成30年6月1日に更新予定ですので、5月中に事務局より先生方に通知させていただきます。

会員情報を各自ご確認ください。修正必要箇所がありましたら、恐れ入りますが事務局までメールにてお知らせください。年度途中で退職予定の方は、退会届を事務局にご提出ください。その他、会員の転入・転出・異動があればご一報くださいますようお願いいたします。

大阪市役所医師会事務局の連絡先は、TEL 06-4792-7070、

メールアドレスは [ishikai@oepa.or.jp](mailto:ishikai@oepa.or.jp) です。

## 編集後記

勤務医師会報137号が出来ましたのでお届けします。先生方にはお忙しい中、原稿をお寄せいただきありがとうございました。

当会報やホームページでは、その他の学会・イベントのご案内、研究論文、留学・研修記などの原稿、季節の写真等を受け付けておりますので、会員の皆様からの積極的な投稿をお待ちしております。

出雲谷 恭子 記